

平成26年 第3回定例会

一 般 質 問

[個 人 質 問]

印 西 市 議 会

順 番	議員番号	議 員 名	質問方式
1	2 番	雨 宮 弘 明	一問一答
2	1 3 番	松 尾 榮 子	一問一答
3	1 9 番	山 田 喜代子	一問一答
4	8 番	近 藤 瑞 枝	一問一答
5	7 番	國 嶋 久 善	一問一答
6	1 番	浅 沼 美弥子	一問一答
7	1 6 番	軍 司 俊 紀	一問一答
8	4 番	海老原 作 一	一問一答
9	1 0 番	中 澤 俊 介	一問一答
1 0	3 番	岩 崎 成 子	一問一答
1 1	1 5 番	上 條 公 司	一問一答

質 問 1

質問者 2番 雨 宮 弘 明

1 北総線高運賃問題について

- (1) 板倉市長が北総鉄道の株主総会で質問され、大幅値下げを要求されたことについて、8月1日付けで「北実会」が「さすが板倉さん、頼もしい市長」と題する会報を発行したが、市長はどのように受けとめているか。
- (2) 更なる運賃値下げ実現のため、今後どのように取り組む計画か。

2 介護保険料の還付未処理について

- (1) 調査委員会で調査した結果、原因、再発防止策、責任者処分の結論は出たのか。
- (2) 地方自治法の改正により行政機関等の共同設置が可能になったが、監査委員事務局が真に機能を発揮できるよう、周辺自治体と共同で設置する考えはないか。

3 中央駅南地区の街づくりについて

- (1) 中央駅南地区の小学校用地削除などの都市計画変更に際して都市計画審議会は機能したのか。
- (2) 小中学校の統廃合計画は作成されたのか。

4 いこいの湯閉鎖の対策について

- (1) 請願が採択されたが、どのように対応しているのか。
- (2) クリーンセンター併設の温水センターの活用による再開を検討すべきではないか。

質 問 2

質問者 13番 松 尾 榮 子

株東洋経済新報社の「全国住みよさランキング2014」の総合部門で、印西市は3年連続「住みよさ日本一」になりました。千葉ニュータウン事業等で急激に成長してきた印西市は、人口増加、企業進出等、成長力では全国トップレベルですが、一人当たり病床数や介護、保育所指数等の「安心度」では全国600番台とまだまだ課題が満載です。市民が安心して暮らせ、住みよさを実感できるまちづくりに向けて、次の各点について伺います。

1 ひとに優しいまちづくり～福祉施策について

- (1) 第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けて
 - ①施設入所待機者の現状と将来見込み
 - ②生活圏域の設定について
 - ③圏域ごとの福祉拠点と福祉事業内容・体制について
- (2) 総合福祉センターのお風呂の再開について
- (3) 民生・児童委員の配置状況と今後の課題
- (4) 地域ぐるみの高齢者見守り体制について

2 防災体制の充実について

日本各地で近年、多くの自然災害が発生しています。記録的大雨による広島市の土砂崩れ災害は甚大な被害をもたらしました。被災の方々には心からお見舞いを申し上げます。市の防災体制の充実に向けて、以下の各点について進捗状況を伺います。

- (1) 土砂災害危険箇所、急傾斜地崩壊危険区域対策
- (2) 避難所への防災井戸整備計画
- (3) 防災倉庫・防災備品の計画的な点検と補充
- (4) 独居高齢者等への救急医療情報キット（命のバトン）の配布
- (5) 災害時要援護者支援について

3 印西クリーンセンター次期中間処理施設整備事業について

- (1) 環境整備事業組合用地検討委員会の検討状況と市としての対応

4 つよく安心なまちづくり～北千葉道路について

都心と成田空港の中間に位置する印西市のポテンシャルを生かしたつよく安心なまちづくりに向けて、北千葉道路の完成は、今後の印西市のまちづく

りを左右する大きなステップとなります。そこで伺います。

- (1) 印旛－成田間の進捗状況
- (2) 国道464号掘割部鎌ヶ谷方面出口の開設予定について
- (3) 鎌ヶ谷－市川間の事業化に向けた動き

5 明るく希望に満ちた印西のまちづくりについて

- (1) コスモスまつり等市民が一体となれる市民まつりの復活について
一昨年12月議会、昨年6月議会において質問したが、その後の検討状況はどうか。
- (2) 「道の駅」構想について

質 問 3

質問者 19番 山 田 喜代子

1 安心して住み続けたい街に

総務省は2013年の住宅・土地統計調査の結果を発表した。全国の空家数は過去最高の820万戸（マンション含）とのことで、そのうち放置された空家は318万戸にのぼっている。印西市も同様の空家があり、治安、防災、環境面からも大きな問題が生じている。

- (1) 市内の空家・空室（マンション・賃貸住宅）の現状の把握は行っているか
- (2) 今までどう対応してきたか
- (3) 今後、どう対応していくのか
- (4) 空家・空室（賃貸住宅）を市営住宅として整備、活用する考えはないか
- (5) 安心して住み続ける街にするための構想、計画はあるか

2 夏休み期間中の小学校のプール開放について

- (1) 2013年度、2014年度の実績
- (2) 2年間の実績をふまえての来年度の計画

- 3 「総合福祉センターの風呂“いこいの湯”の再開を求める請願書」の請願が採択された。市民の思いを受けとめ、早急に再開すべきと考えるが、市長の見解を伺う。

- 4 成田線の利便性向上・強化について
日本共産党のアンケートに寄せられた声をもとに質問する
 - (1) 利便性の向上の為の施策
 - (2) 木下駅の利便性はどうか
 - (3) 小林駅の現状と市民への周知は充分か

質 問 4

質問者 8番 近 藤 瑞 枝

- 1 ごみの減量・分別・リサイクル促進等について
 - (1) 進捗状況はどのようなものか。
 - (2) 印西市廃棄物減量等推進員について
 - ①応募状況はいかがか。
 - ②役割はどのようなものか。
 - ③現在の状況、今後の課題は何か。
 - (3) 住民意識の向上について

- 2 ワーク・ライフ・バランスについて、どのように考えるか。

- 3 小中学校の土曜授業について
 - (1) 国の示す方向について、どのような見解をもっているか。
 - (2) 県内や近隣自治体の状況はどのようなものか。
 - (3) 当市の取り組みはどのようなものか。

- 4 来年4月の生活困窮者自立支援法施行への準備状況はいかがか。

質 問 5

質問者 7番 國 嶋 久 善

- 1 地域開発について
 - (1) 小林駅とその周辺の進捗状況について
 - (2) ランドローム跡地と駅前の進捗状況について

- 2 最終処分場とクリーンセンター施設利用について

- 3 北総線の高運賃と線路使用料について
 - (1) 株主総会での内容と解決策について
 - (2) 第三セクターとしての北総鉄道について
 - (3) 線路使用料について

- 4 総合福祉センターの風呂（いこいの湯）について
 - (1) 印西市として中止の明確な理由
 - (2) 住民の要望のために市政の対策は

質 問 6

質問者 1番 浅 沼 美弥子

- 1 環境美化・花の景観づくりの推進について
この夏、雑草の草刈りやごみの不法投棄の改善等を要望する声が多数寄せられた。道路の草刈りについては、例年に比べ実施が遅れた地域があった。環境美化並びに花の景観づくり推進の観点から以下伺う。
 - (1) 草刈委託等の現状、課題及び改善策
 - (2) 空き地等の現状、課題及び改善策

(3) 県、都市再生機構等による管理の現状、課題及び改善策

(4) 市が保有する空き地等の現状、課題及び改善策

わがまちの計画には、潤いのある生活空間の創出にむけて、公園や沿道における花壇づくりや植栽を奨励し、四季を通して市内各所に花が咲き誇る魅力あるまちづくりを市民と共に進める「四季の花の景観づくりの推進」が掲げられている。

(5) 事業の全容

(6) 今後の推進策

2 景観まちづくりについて

(1) 基本的な考え方

(2) 歴史・文化的な地域資源 蔵、古民家等の保全

3 農業振興について

(1) 耕作放棄地解消対策

①進捗状況と今後の取り組み

4 学校の非構造部材等の耐震化について

(1) 進捗状況と今後の計画

(2) 窓ガラスの飛散防止等安全対策

5 聴覚障害者等のためのパトライト設置について

質 問 7

質問者 16番 軍 司 俊 紀

1 緑生会と印西市について

医療法人緑生会は印西総合病院の運営に関して、夜間・休日における「救急外来受入休止のお知らせ」と「診療科休止のお知らせ」を公表し、市民から動揺の声が届いている。

今後も引き続き、市民から二次救急を担うことが期待され、求められている同病院だが、印西市では緑生会とどのような関係が現在、構築され、

今後、どのように関わっていくのか。

- (1) 印西総合病院を現状どのように評価し、どのような関係を構築しているのか。
- (2) 病児・病後児保育は今後どうなるのか。
- (3) 緑生福祉会「スマイル保育園」をどのように評価するか。

2 地域コミュニティのあり方について

総務省は今年4月に「都市部におけるコミュニティの在り方に関する研究会」報告書を発表し、管理組合と自治会等・市町村との連携促進のため、問題解決の指針作成を提言した。さらに先月10日「都市部におけるコミュニティの発展方策に関する研究会」の第1回目の会合を開き、中心的課題の一つに「管理組合と市区町村、自治会の関係」を設定し、今後議論をすすめていくことを公表しています。

- (1) 印西市では千葉ニュータウンを抱え、自治会加入世帯も減少の傾向が止まらないように見えます。

今後、団塊の世代は2015年に65歳以上となる前期高齢者になり、これは2025年問題前の「2015年問題」ともいわれています。10年後の2025年問題を見据えて、印西市は、地域コミュニティと高齢者対策の関係を施策上どのように位置付け、事業を行っていくのか？

- (2) 高齢者が気軽に集える固定された場を設け、その不安（健康上、メンタル上）な気持ちに寄り添い、地域に密着した活動を行うことを地域コミュニティの中に位置づけていく必要があると考えます。印西市の高齢化対策として、こうした取り組みを研究したことはあるか。

3 子ども・子育て支援新制度について

国の保育制度を改革する「子ども・子育て支援新制度」が来年度から実施されるのに向け、今秋から全国で保育の利用申し込みが始まることになっています。新制度は、多様な保育サービスを増やすだけでなく、様々な子育て支援も拡充するため、すべての子育て世帯に影響が及ぶが、住民への周知などが課題になっています。

- (1) 新制度の実務の具現化に向けた取り組みは、現在どのような段階にあるか。（認定、利用調整、保育料の決定、確認などについて）
- (2) ニーズ調査を踏まえた事業計画策定は進んでいるのか。
- (3) 利用者・住民等に対する周知はどのように行われるのか。（利用者への説明、広報、情報発信について）

4 大規模小学校の運営といじめ問題について

学校は、子どもたちが学び、生活する最も重要な教育環境であり、学校

教育施設は、子どもの安全が確保されるとともに、人間形成の場にふさわしく改善、整備されることが必要です。

- (1) 小倉台小学校、原小学校の来年度以降の学校運営について教育委員会ではどのように討議されているのか。
- (2) 千葉県では、教職員一人一人のいじめに対する認識や、学校の取り組みの総点検を行うために、文部科学省の資料を参考に、4領域20項目からなるチェックポイント点検表を作成しました。印西市ではチェックポイントを作成し、同様の集計表を付けているのか。

5 印西市における放射線教育について

東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故から3年半が経過する中、人々の放射線に対する関心は薄れていっているように感じています。しかし、放射性物質が大量に発電所の外に放出されたという事実は変わっていません。私たちは、この事実を踏まえながら一人一人が自らの考えにしたがって対応していく段階に移ってきているようにも思います。一方では、日本の将来を担わなければならない子ども達においては、小学校・中学校・高等学校の各段階に応じて、放射線や放射能、放射性物質について学び、自ら考え、判断する力を育むことが大切であると考えます。印西市の教育現場においては、現在どのように対応しているのか。

6 市民の生活環境の改善について

- (1) 夏から秋にかけて、市内のいたるところで雑草が繁茂し、空き地においては火事や犯罪の危険性が指摘され、また道路沿いでは交通事故が懸念され、苦情が多く寄せられる。雑草の除去について、市当局は迅速なる対応はできないのか。
- (2) 防犯灯の設置については、町内会や自治会からの申請が最初の段階となっているが、学校のPTAが主体となって申請し、子どもの安全安心を目指すべきだと考えるが、可能か。

7 印西牧の原駅圏の将来について

- (1) 駅北側21住区小学校の入学予定者は現在何名か。
- (2) 駅北側「牧の原地区」から、信号の設置要望があがっているが、学校の開校前に設置可能か。
- (3) 牧の原地区の交差点内で方向転換する車が以前より増え、事故も多発している。
対応を求める声が多いが、規制看板の設置は可能か。

質 問 8

質問者 4番 海老原 作 一

1 社会保障・税番号（以下番号制度という）制度導入について

国民の一人ひとりに番号を割り振り、各行政機関等が保有する社会保障や納税に関する情報を必要な時のみに情報連携を行い、行政の効率化や公正な給付と負担を実現し、手続きの簡素化による国民の負担軽減を図る目的で、平成25年5月31日に公布された「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」に基づき、印西市では、平成28年1月の個人番号カードの交付および個人番号の利用開始に向け準備を進めているところであります。そこで、番号制度導入にあたり以下の質問をいたします。

- (1) 番号制度の概要について。
- (2) 住基ネットと番号制度の違いについて。
- (3) 制度導入により見込まれる効果について。
- (4) 制度、システム上における個人情報保護について。
- (5) 市民に対する番号制度の周知について。

2 高齢者の福祉向上への取り組みについて

内閣府が発表した平成25年版高齢社会白書によれば、平成24年10月1日現在の我が国の高齢化の状況は、総人口1億2,752万人に対し65歳以上の高齢者人口は過去最高の3,079万人で高齢化率は24.1%に上昇したとあります。また、平成72年には、2.5人に1人が65歳以上、4人に1人が75歳以上と予測しています。それでは、印西市の高齢化率の推移はどのようになっているかということを検証しますと、平成23年7月末現在15.9%であったものが平成26年7月末現在18.8%と急速に上昇しています。このような状況を踏まえ以下の質問をいたします。

- (1) 高齢者が地域で安心して健康に暮らすということについてどの様に考えているか。
- (2) 総合福祉センター内の「いこいの湯」再開についてどの様に考えているか。
- (3) 救急医療情報キット配布事業の進捗状況について。
- (4) 他市の先進事例について調査研究しているか。

質 問 9

質問者 10番 中 澤 俊 介

1 住宅リフォーム補助事業について

(1) 公平性の観点から二次募集を実施してはどうか

- ① 補正予算の編成
- ② 次年度の事業継続

2 中心市街地活性化基本計画の検証について

(1) 最終年度となり、実現化方策の進捗はいかがか

- ① ふるさと・ふれあい拠点づくりとふるさと遊歩道の形成
- ② 街並み景観の形成
- ③ 魅力のある木下駅周辺の再生
- ④ 安全な歩行者・自動車交通ネットワークの確立
- ⑤ 公共交通の充実による利便性の向上
- ⑥ うるおい豊かな公園や水辺の活用
- ⑦ 自動車利用客への利便性向上
- ⑧ 大規模空地等の有効活用の検討
- ⑨ 千葉ニュータウンとの連携
- ⑩ 地域交流拠点づくりとわかりやすい地域情報の提供
- ⑪ 空き店舗・空き蔵の多面的活用
- ⑫ 店舗の駅前集約による核づくり
- ⑬ 協働体制によるサービスの向上や新たな商品開発
- ⑭ 商店街等の魅力を高める環境づくり
- ⑮ 中心市街地のまちづくりを担う人材・組織の育成
- ⑯ ふれあいイベントの開催による文化の育成

3 いこいの湯の再開について

(1) 憲法第16条および請願法第5条をどう考えるか

- ① 地方自治法第125条による処理の経過

質 問 10

質問者 3番 岩 崎 成 子

1 公共交通の充実について

- (1) 本市において現在、交通不便地域解消策としてデマンド交通導入のための取り組みを進めています。導入に向けての進捗状況を伺います。
- (2) 自動車を運転できない高齢者が増加する中、政府は今年中に交通政策の基本計画を閣議決定し、2015年度から予約を受け付けるシステムを構築するための補助金制度を新設し、導入する自治体を支援し、多くの人が便利になる地域交通計画の策定を後押ししていく方針とのこと。本市において、この補助金制度を活用していく考えはあるか伺います。

2 安心・安全対策について

児童・生徒が家庭で過ごした長い夏休みも終わり、9月に入り運動会の練習等、学校で過ごす時間が多くなっています。通学時や学校での児童・生徒の安心・安全対策について伺います。

- (1) 通学路の安心・安全性はどのように確認しているか。
- (2) 台風シーズンを迎え、ゲリラ豪雨等自然災害に対応するための教育をどのように行っているか。
- (3) 不審者等への対応は万全であるか。

3 印旛日本医大駅エリアについて

駅付近の造成等が急ピッチで進められています。周辺の市民の方は、一日も早く熟成した活気のある街として進展していくことを望んでいます。そこで伺います。

- (1) 印旛日本医大駅エリアの進捗状況について。

4 景観施策について

千葉ニュータウン事業も平成25年度で収束し、今後は市が中心となり「印西のまちづくり」を進めて行くこととなります。当市の豊かな自然や風土、長年培われてきた伝統や歴史・文化を活かし、特色ある景観が形成されることを望んでいます。そこで伺います。

- (1) 当市の景観施策への考えについて

5 次世代型小型電気自動車について

渋滞緩和や回遊性の向上、環境負荷の低減などを念頭に市民や観光客が街

中をより移動しやすくなるための手段を検証するために、2人乗りの小型電気自動車「超小型モビリティ」の導入が各地で進められています。そこで伺います。

- (1) 当市は「超小型モビリティ」について調査・研究をしているか。
- (2) 環境性能に優れたまた、観光客の足となる「超小型モビリティ」の導入を当市は考えているか。

質 問 1 1

質問者 15番 上 條 公 司

今年度も、半年過ぎようとしている。政策の施行状況はいかがであろうか。この9月議会は、昨年 of 総括ともいふべき決算審査とも重なる。予算の執行状況を中心に質問を進めたいと思う。

1 住宅増改築の助成制度について

- (1) 助成の目的と現在の応募状況
- (2) 今後の取り組みと財政

2 産学官連携による産業育成策について

- (1) 産学官連携に至った経緯と成果
- (2) 将来展望と検証

3 安全対策考

- (1) 木下小学校法面崩落復旧工事の進捗状況
- (2) 大雨や台風時に頻繁に運休するJR成田線への申入れ状況

4 コスモス道路と木下街道歩道の整備について

- (1) コスモス道路建設の遅れによる街づくりへの影響はいかがか
- (2) 木下街道歩道整備状況

5 教育委員会に問う

- (1) 文部科学省主催全国学力テスト市内小・中学校結果の公表意思

(2) 学校統廃合のすすめ方